



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月10日

上場会社名 北陸電気工業株式会社
 コード番号 6989 URL <https://www.hdk.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多田守男
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 林 良徳
 四半期報告書提出予定日 2020年11月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 076-467-1111

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	14,348	28.7	302		256		344	
2020年3月期第2四半期	20,121	4.0	526	103.5	455	33.3	310	44.3

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 175百万円 (%) 2020年3月期第2四半期 64百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	41.12	
2020年3月期第2四半期	37.09	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	32,725	12,229	37.4
2020年3月期	34,945	12,656	36.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 12,229百万円 2020年3月期 12,656百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		30.00	30.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,500	18.6	150	82.0	250	72.8	50	92.5	5.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	9,250,099 株	2020年3月期	9,250,099 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2021年3月期2Q	878,720 株	2020年3月期	878,280 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期2Q	8,371,659 株	2020年3月期2Q	8,375,906 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により生産が停滞し個人消費が落ち込みましたが、規制解除後は財政拡大や金融緩和などの政策効果により総じて回復基調で推移しました。

わが国におきましては、緊急事態宣言解除後に個人消費が持ち直し輸出も増加に転じましたが、設備投資は停滞が継続しており、依然先行き不透明な状況にあります。

そのような環境下、エレクトロニクス市場におきましては、生産拠点の操業規制および世界景気の悪化に伴い、自動車関連、産業・FA関連において生産が減少し、電子部品需要は減少しましたが、中国自動車販売の回復などを背景に7月頃から受動部品等において持ち直し基調となりました。

こうした状況のなかで、当社グループにおきましては、新規分野への拡販活動を進める一方、固定費および諸経費の抑制に努めました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、各品種総じて受注が前年同期比減となったことから、売上高14,348百万円（前年同期比△28.7%）、営業損失302百万円（前年同期は営業利益526百万円）、経常損失256百万円（前年同期は経常利益455百万円）となりました。

また、投資有価証券評価損190百万円を特別損失に計上したことから、親会社株主に帰属する四半期純損失344百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益310百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①電子部品

電子機器メーカーの生産減に伴い、受注において自動車関連向けが落ち込んだことを主因に、モジュール製品、抵抗器等各品種総じて売上が減少し、売上高13,860百万円（前年同期比△29.6%）、営業利益195百万円（同△80.4%）となりました。

②金型・機械設備

金型はアミューズメントおよび車載向けに受注が減少したことにより、また、機械設備は設備投資の停滞により、それぞれ売上が減少したことから、売上高335百万円（同△22.7%）、営業利益10百万円（同△28.1%）となりました。

③その他

商品仕入及び不動産業等にかかる事業であり、売上高235百万円（同△17.6%）、営業利益54百万円（同△11.5%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末は、コロナ禍で生産水準が低下したことから、前連結会計年度末に比べ、総資産は売上債権およびたな卸資産の減少などから2,220百万円減少し、負債は仕入債務の減少を主因に1,793百万円減少しました。

純資産は前連結会計年度末に比べ、426百万円の減少となりました。うち、株主資本は、親会社株主に帰属する四半期純損失により344百万円減少し、剰余金の配当により251百万円減少したことから、595百万円の減少となり、その他の包括利益累計額は、その他有価証券評価差額金の増加および為替換算調整勘定の減少から168百万円の増加となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フロー723百万円、投資活動によるキャッシュ・フロー△169百万円、財務活動によるキャッシュ・フロー△369百万円となり、現金及び現金同等物の当四半期末残高は前連結会計年度末に比べ148百万円増加し、6,168百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染拡大が継続しており、先行きは不透明感が拭えないものの、自動車関連市場など経済活動は回復に向かっております。

当社グループにおきましては、受注は自動車向けを主体に各品種総じて回復基調にあり、当期の業績予想につきましては、2020年8月7日の公表から変更ありません。

為替相場につきましては、106円/米ドルを想定しております。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,228	7,415
受取手形及び売掛金	7,648	6,621
商品及び製品	1,183	1,214
仕掛品	2,315	2,032
原材料及び貯蔵品	1,788	1,667
その他	1,279	659
貸倒引当金	△15	△15
流動資産合計	21,428	19,594
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,646	2,587
機械装置及び運搬具(純額)	3,555	3,266
土地	2,917	2,917
その他(純額)	309	276
有形固定資産合計	9,428	9,047
無形固定資産	498	442
投資その他の資産		
投資有価証券	983	1,142
繰延税金資産	1,434	1,386
その他	1,359	1,210
貸倒引当金	△188	△99
投資その他の資産合計	3,589	3,640
固定資産合計	13,516	13,130
資産合計	34,945	32,725

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,526	4,179
短期借入金	3,640	4,876
未払法人税等	172	—
賞与引当金	390	408
その他	1,304	1,176
流動負債合計	11,034	10,641
固定負債		
長期借入金	5,697	4,419
リース債務	476	414
繰延税金負債	0	1
再評価に係る繰延税金負債	327	327
退職給付に係る負債	4,631	4,571
その他	121	120
固定負債合計	11,254	9,854
負債合計	22,289	20,495
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,200	5,200
資本剰余金	5,039	5,039
利益剰余金	3,619	3,024
自己株式	△1,156	△1,157
株主資本合計	12,701	12,106
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△181	127
土地再評価差額金	685	685
為替換算調整勘定	△361	△526
退職給付に係る調整累計額	△187	△162
その他の包括利益累計額合計	△45	123
純資産合計	12,656	12,229
負債純資産合計	34,945	32,725

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	20,121	14,348
売上原価	17,071	12,411
売上総利益	3,050	1,936
販売費及び一般管理費	2,523	2,239
営業利益又は営業損失(△)	526	△302
営業外収益		
受取利息	34	27
受取配当金	45	16
貸倒引当金戻入額	—	70
雇用調整助成金	—	102
その他	68	83
営業外収益合計	148	300
営業外費用		
支払利息	36	26
休業費用	—	95
為替差損	118	94
その他	64	36
営業外費用合計	218	254
経常利益又は経常損失(△)	455	△256
特別利益		
固定資産売却益	1	0
保険解約返戻金	5	42
その他	—	0
特別利益合計	6	43
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	18	0
投資有価証券評価損	—	190
その他	1	1
特別損失合計	19	192
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	442	△405
法人税等	131	△61
四半期純利益又は四半期純損失(△)	310	△344
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	310	△344

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	310	△344
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△120	308
為替換算調整勘定	△278	△165
退職給付に係る調整額	23	24
その他の包括利益合計	△375	168
四半期包括利益	△64	△175
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△65	△175
非支配株主に係る四半期包括利益	0	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	442	△405
減価償却費	562	538
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2	△88
賞与引当金の増減額(△は減少)	12	17
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△93	△59
受取利息及び受取配当金	△79	△44
支払利息	36	26
為替差損益(△は益)	10	△47
固定資産売却損益(△は益)	△1	△0
固定資産除却損	18	0
投資有価証券評価損益(△は益)	—	190
雇用調整助成金	—	△102
休業費用	—	95
保険解約返戻金	△5	△42
売上債権の増減額(△は増加)	3,259	941
たな卸資産の増減額(△は増加)	373	310
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,668	△1,333
未収消費税等の増減額(△は増加)	532	519
その他	497	207
小計	3,900	726
利息及び配当金の受取額	79	44
利息の支払額	△35	△26
法人税等の支払額	△264	△80
保険解約返戻金の受取額	5	42
損害賠償金の支払額	△24	△8
雇用調整助成金の受取額	—	102
訴訟和解金の支払額	△106	—
補償金の受取額	—	11
休業費用の支払額	—	△87
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,554	723
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△370	△263
固定資産の売却による収入	2	0
投資有価証券の取得による支出	△2	△0
貸付けによる支出	△25	△14
貸付金の回収による収入	31	90
定期預金の純増減額(△は増加)	—	△25
その他	73	43
投資活動によるキャッシュ・フロー	△290	△169

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△682	1,600
長期借入金の返済による支出	△1,509	△1,643
リース債務の返済による支出	△103	△74
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△251	△251
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,546	△369
現金及び現金同等物に係る換算差額	△52	△34
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	664	148
現金及び現金同等物の期首残高	4,004	6,020
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,668	6,168

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率により計算した税金費用が著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率により計算する方法によっております。また、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	電子部品	金型・ 機械設備	計				
売上高							
外部顧客への売上高	19,686	218	19,905	216	20,121	—	20,121
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	214	214	69	284	△284	—
計	19,686	433	20,120	285	20,406	△284	20,121
セグメント利益	997	14	1,011	61	1,072	△546	526

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品仕入(株大泉製作所製品)及び不動産・保険代理業に係る事業であります。
2. セグメント利益の調整額△546百万円には、セグメント間取引消去37百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△583百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	電子部品	金型・ 機械設備	計				
売上高							
外部顧客への売上高	13,860	310	14,171	177	14,348	—	14,348
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	25	25	57	83	△83	—
計	13,860	335	14,196	235	14,431	△83	14,348
セグメント利益	195	10	206	54	260	△563	△302

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品仕入(株大泉製作所製品)及び不動産・保険代理業に係る事業であります。
2. セグメント利益の調整額△563百万円には、セグメント間取引消去34百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△598百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。